

●鳥取市多鯰ヶ池周辺整備事業

令和3年度鳥取市ジオパーク魅力活用事業で砂丘トンネル出口・県道265号線のり面の雑木を12名・1日間で伐採しました。

[日時]： 2021年11月4日（木曜日）

[場所]： 県道265号線砂丘トンネル出口の多鯰ヶ池側

[内容]： 昨年の鳥取県クラウドファンディングによる資金調達での砂丘トンネル出口伐採事業に引き続き、今年は12名で昨年の延長約100mを伐採しました。



浜湯山・多鯰ヶ池活性化委員会メンバー12名の集合写真です

伐採事業が掲載された新聞記事

2021年11月5日「日本海新聞」



多鯨ヶ池魅力向上へ

県道沿い雑木伐採に汗

の 部 福 住 民 団 体

鳥取市の鳥取砂丘と多鯨ヶ池に挟まれた県道沿いの山の住民団体「浜湯山・多鯨ヶ池の伐採作業が4日、現 鯨ヶ池活性化委員会」（飼

鳥取市の鳥取砂丘と多鯨ヶ池に挟まれた県道沿いの山の住民団体「浜湯山・多鯨ヶ池の伐採作業が4日、現 鯨ヶ池活性化委員会」（飼

池側のり面に生い茂った雑木を切り落とす活性化委員会のメンバー = 4日、鳥取市浜坂

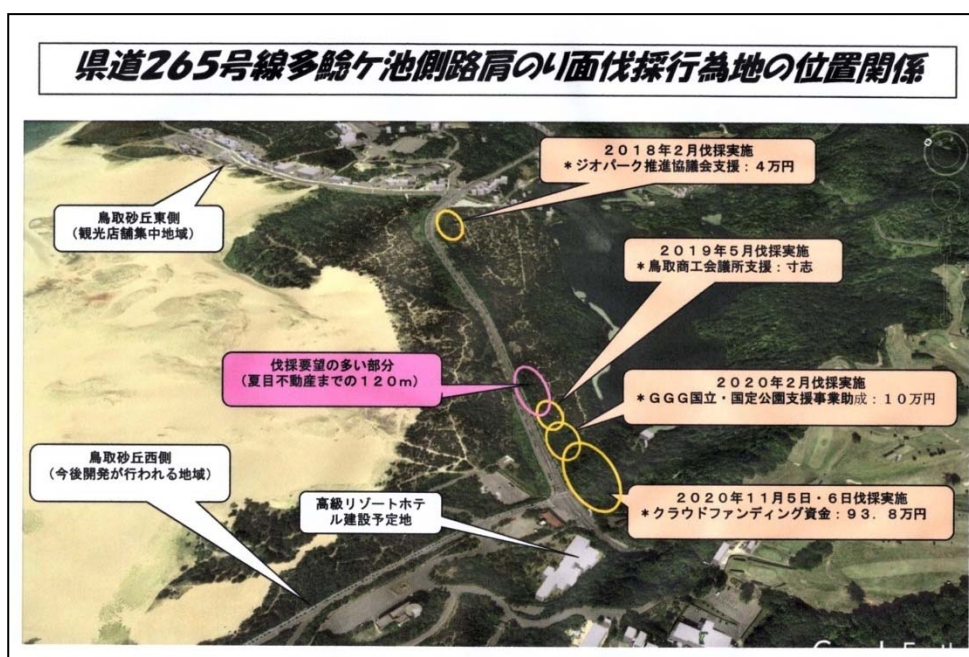
牛明代表)が一带に生い茂ったハゼやニセアカシアなどを伐採し、観光地の魅力アップに一汗流した。

池周辺の景観保全に取り組む同委員会は、2018年からボランティアでのり面の整備を開始。昨年は鳥取県のふるさと納税型クラウドファンディング事業を使って活動資金を集めた。池側は半世紀以上手付かずで雑木がはびこり眺望を遮っていたが、地道な活動が実を結び、県道から池が見渡せるようになってきた。

今年には市の補助金を活用し、11人のメンバーが雑草を刈り取ったり切り落としした木々をパワースイッチで運んだりし、約700平方メートルを整備した。飼牛代表(73)は「住民や観光者から池が見えてきれいになったという声をたくさん聞いた。砂丘西側で進む観光開発と合わせ、一帯の景観保全が進めば」と話した。

(野木 紇)

県道265号線各年度の伐採計画と実績



2019年5月（環境省支援事業）

伐採前



伐採後



2020年11月（鳥取県支援事業）



2021年11月（鳥取市支援事業）



作用写真

